

階名の読み方

ト音記号



音符は、「線」→「間」→「線」→「間」と順に並んでいるだけです。

ヘ音記号（C（ハ調）読み）



上へは、ドレミファソラシドレミ・・・
下へは、ドシラソファミレドシラ・・・

と読んでいきましょう。

ヘ音記号（B（ベー・変ロ調）読み）

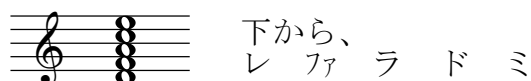
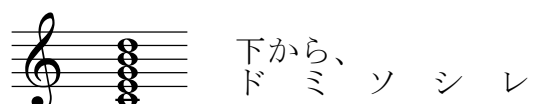


ヘ音記号で書かれている楽器で、構造上のB管(変ロ調でできている楽器)の楽器（ユーフォニアム、チューバ、トロンボーンなど）は、B（ベー）読みをするのが便利です。

階名読みは、慣れれば慣れるほど、早く読めるようになります。
楽譜をもらったら、いつも階名で読みましょう。
楽譜に、階名を書きたくなと思いますが、いつも書いていると、音符を見ずにカタカナばかり見てしまい、音符が読めるようになりません。
最初は、間違えやすいところだけに階名を書くだけにしましょう。
そして、階名を書くのをへらしていき、階名を書かなくても読めるようにしましょう。

ひとつとびの階名を覚えよう！

1音ずつ数えていたら時間がかかります。
そこで、「線」の音の階名、「ドミソシレ」
「間」の音を読む階名、「レファラドミ」を覚えましょう。
これを覚えれば、数秒で読めるようになります！



階名のカタカナを書かなくても読めるようになれば、しめたもの！
カタカナを書くのは、めんどくさいですね。楽になります。
また、音符を見れば、瞬時に理解して、楽器で音が出せるようになりますよ！

楽譜は世界の共通語です。
外国語が分からなくても、外国の方と音楽を通して心が通じ合います！